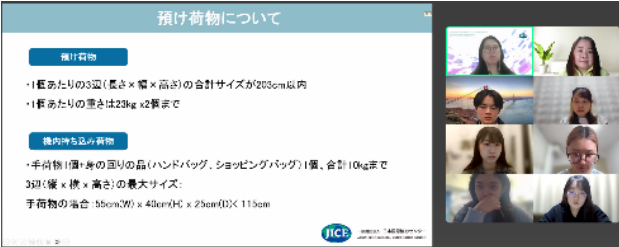
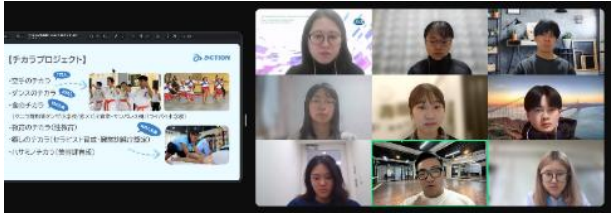


【交流】JENESYS 同窓生との交流

- 11 月 27 日（木曜日） 【講義】独立行政法人国際協力機構（JICA）フィリピン事務所
「JICA 事業について」「JICA 海外協力隊 活動紹介」
講師：JICA フィリピン事務所 企画調査員 ボランティア事業 浅田 恵理 氏
JICA 海外協力隊 前川 未歩 氏
【視察】NPO 法人アクション活動現場視察：ナボタス市 タンザ小学校、同市 バランガイ（集落）
- 11 月 28 日（金曜日） 【学校交流】ファー・イースタン大学
【学校交流】フィリピン女子大学
- 11 月 29 日（土曜日） 【ホームビジット】フィリピン メトロマニラ
- 11 月 30 日（日曜日） 【視察】首都圏鉄道（MRT、LRT）、レガスピ・サンデー・マーケット
- 12 月 1 日（月曜日） 【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
【報告会】渡航成果・帰国後の活動計画発表
マニラ ニノイ・アキノ国際空港より出発
- 12 月 2 日（火曜日） 羽田空港到着

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

	
8 月 26 日【講義】記念撮影	10 月 20 日【テーマ関連講義】「フィリピン理解講義～JICA によるフィリピンへの協力」
	
11 月 14 日【参加者説明会】	11 月 19 日【テーマ関連講義】 「アクション事業紹介」

派遣プログラム

	
11 月 25 日【出発前オリエンテーション】	11 月 26 日【表敬訪問】在フィリピン日本国大使館 専門調査員 金井 貴佳子 氏
	
11 月 26 日【視察】サンチャゴ要塞	11 月 26 日【表敬訪問】青年組織委員会（NYC）エグゼクティブディレクター・最高執行責任者 レア・T・ビラロン 氏
	
11 月 27 日【講義】JICA フィリピン事務所「JICA 海外協力隊活動紹介」個別質問の様子	11 月 27 日【視察】NPO 法人アクション（ナボタス市バランガイ（集落））
	
11 月 28 日【学校交流】ファー・イースタン大学	11 月 28 日【学校交流】フィリピン女子大学

	
11月29日【ホームビジット】	11月29日【ホームビジット】
	
12月1日【ワークショップ】	12月1日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

最も印象に残ったのは、青年組織委員会（NYC）、JICA フィリピン事務所、NPO 法人アクション、そしてバランガイのスラムなど、普段は立ち入ることのできない現場での交流です。現地で働く人や生活している人の話を直接聞くことで、教科書や報告書だけでは分からない地域の課題や日常生活のリアルな姿を知ることができました。

さらに、こうした現場の声を通じて、日本とフィリピンが協力して社会課題に取り組む可能性について深く考えるきっかけとなりました。

◆ 大学生

最も良かったのは、現地の方々と直接交流できる機会が多かった点です。

実際に顔を合わせて話すことで、資料だけでは分からない生活の様子や価値観、思いを知ることができました。さらに、皆さんがとても温かく迎えてくださり、自分たちの経験や地域のことを丁寧に教えてくれたおかげで、その地域をより深く理解することができました。

こうした対話の時間が、今回の視察を特に価値あるものにしてくれたと感じています。

◆ 大学生

ナボタス市バランガイにあるスラムの訪問が印象的でした。貧困地域の子どもたちが明るく過ごしている様子は知識としては理解していましたが、実際に目の前で見ることで大きな感動を覚えました。無邪気で可愛い子どもたちに、より良い生活を送ってほしいと心から願い、貧困の構造についてより深く考えるようになりました。

また、この体験をきっかけに、メンバー同士で「最貧困層をどのように支援できるか」について議論する機会も生まれました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先関係者

学生の皆様の国際協力や地域課題に対する真摯な姿勢、そして現場に寄り添うことの大切さを改めて認識する機会となりました。今回の取り組みが「一緒に未来を作る活動」であることを強く感じ、今後の業務にも活かしてまいりたいと考えています。

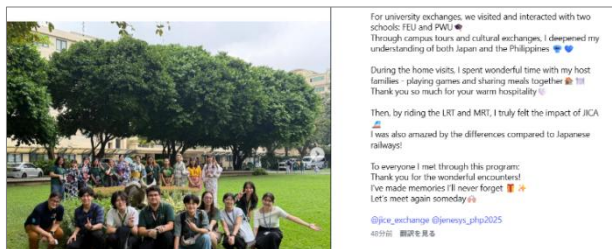
また、学生の皆様がフィリピンとの関わりや国際協力活動を継続される姿に感銘を受け、このような開発交流がさらに深化するよう、私どもも引き続き協力してまいります。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 本日よりSNS投稿を始めました！ こちらは過去のプレプログラムの様子です JENESYS2025の準備が着々と進んでいます！ これからも更新していくので、ぜひチェックしてください！ We've started posting on social media! Here are some snapshots from our previous pre-program Preparations for JENESYS 2025 are moving forward steadily! Stay tuned for more updates! #Jenesys2025	2025 年 11 月 15 日（Instagram） 大学生 本日より SNS 投稿を始めました。 こちらは過去のプレプログラムの様子です。 JENESYS2025 の準備が着々と進んでいます。 これからも更新していくので、ぜひチェックしてください。
 今日、私たちは Tanza Barangay を訪問しました。写真で見ていた光景を実際に自分の目で見て、その迫力と現実を強く感じました。衛生環境が良い Today we visited Tanza Barangay. Seeing it real life what we had only seen in photos was powerful and eye-opening. Even though the sanitary conditions were extremely poor, the people living there welcomed us Japanese visitors with open smiles. Local people were playing energetic side playing with much energy, and the children were happily playing with foreign visitors. It made me reflect deeply on what that happiness really means.	 今日はフィリピンにある2つの大学を訪問しました。1校目はファー・イースタン大学（FEU）です。私たちが大学に着くと、1対1のバディの学生が Today we visited two universities in the Philippines. The first was the Eastern University (FEU). When we arrived, each of us was greeted by a student buddy and taken on a campus tour. After the campus tour, both the Japanese and Filipino students gave presentations. We showed our respective countries' cultures and unique traditions. Finally, we had an activity where we taught local students about Japanese culture. We all had a great time sharing educational news, doing projects, and playing.
2025 年 11 月 28 日（Instagram） 大学生 今日、私たちは Tanza Barangay を訪問しました。写真で見ていた光景を実際に自分の目で見て、その迫力と現実を強く感じました。衛生環境が良い	2025 年 11 月 29 日（Instagram） 大学生 今日はフィリピンにある 2 つの大学を訪問しました。1校目はファー・イースタン大学（FEU）です。私たちが大学に着くと、1対1のバディの学生が

とは言えない場所なのに、そこに住む人々は私たち研修生の日本人を笑顔で迎えてくれました。大音量の音楽に合わせてみんなでノリノリに踊り、子どもたちも笑顔で楽しそうに遊んでいました。本当の「幸せ」とは何なのか、改めて考えさせられる時間でした。

出迎えてくれて、キャンパスツアーに行きました。教会やクリスマスツリー、大学の歴史を見て回りました。キャンパスツアーの後は日本とフィリピンの双方がプレゼンテーションを行いました。それぞれの国の文化や特徴について発表しました。最後にアクティビティとして、日本の文化を実際に現地の学生に教える活動をしました！知育菓子と一緒に作ったり、ちぎり絵や折り紙をしたりと、みんなで和気あいあいと交流しました。

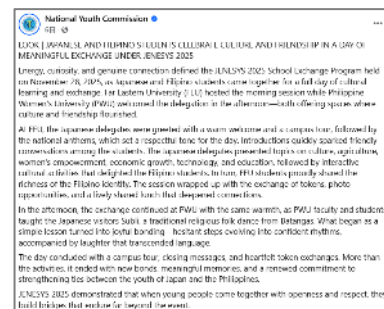


2025 年 12 月 4 日 (Instagram) 大学生
大学生による交流プログラムでは、ファー・イースタン大学 (FEU) とフィリピン女子大学 (PWU) の 2 校を訪問し、キャンパスツアーや文化交流を通じて、日本とフィリピン双方への理解を深めました。
また、ホームビジットではホストファミリーとゲームや食事を楽しみ、温かいおもてなしに触れる貴重な時間を過ごしました。さらに、LRT や首都圏鉄道 (MRT) に乗車し、JICA の取り組みの影響を実感するとともに、日本の鉄道との違いに驚きました。
今回のプログラムを通じて、多くの方々との出会いがあり、一生忘れられない思い出となりました。また会いましょう。

2025 年 12 月 7 日 (Instagram) 大学生
今回のスタディーツアーでは、フィリピンで多様な体験を重ねることができました。
ホームビジットでは、子どもたちと遊ぶ時間を楽しみ、ホストファミリーと食事を共にすることで温かい交流を深めました。
また、フィリピンの大学生と一緒にお菓子を作ったり、ダンスを踊る中で、友情を育むことができました。
さらに、フィリピンではクリスマスを非常に重視しており、9 月からツリーを飾り始める文化に驚きました。
都市部だけでなく市場や郊外にも足を運び、日常生活や地域の雰囲気を感じることができ、毎日が新しい発見と驚きに満ちていました。
この一週間は、忘れられない思い出として心に深く刻まれています。



2025 年 12 月 1 日（ファー・イースタン大学 Department of International Studies の Facebook）
 2025 年 11 月 28 日、JENESYS2025 日本・フィリピン開発交流（日本人大学生等派遣）プログラムの一環として、FEU の国際学部（BA International Studies）の学生が、日本からの参加者を受け入れました。
 この交流では、日本の高等教育機関（HEIs）に所属する 10 名の学生が、FEU の BAIS 学生 10 名とペアを組み、プレゼンテーションやミニアクティビティ、キャンパスツアーを通じて交流しました。学生たちは、日本とフィリピンの教育、技術、経済、政治、文化に関する重要な情報を発表し合い、相互理解を深める機会となりました。



2025 年 12 月 2 日（National Youth Commission の Facebook）
 2025 年 11 月 28 日、JENESYS 2025 学校交流プログラムが開催され、日本とフィリピンの学生が一日を通じて文化交流と学びを深めました。午前中はファー・イースタン大学（FEU）、午後はフィリピン女子大学（PWU）でプログラムが行われ、両校とも文化と友情が育まれる場となりました。FEU では、日本人学生が温かい歓迎を受け、キャンパスツアーや国歌斉唱で交流がスタートしました。続いて、日本側から文化、経済成長、技術、教育に関するプレゼンテーションが行われ、フィリピン側も自国文化を紹介しました。ミニアクティビティや記念品交換、昼食を共にすることで、学生同士の絆が深まりました。
 午後の PWU では、フィリピンの伝統舞踊「スブリ（Subli）」を学ぶ体験があり、言葉を越えた笑顔と交流が広がりました。最後にキャンパスツアーと閉会メッセージ、記念品交換を行い、プログラムは新たな友情と忘れられない思い出とともに締めくくられました。
 今回の交流は、若者が互いに敬意とオープンな心で向き合うことで、国境を越えた絆を築けることを示しました。

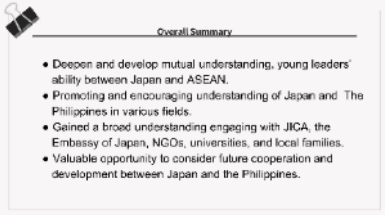
6. 報告会での渡航成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 1 グループ発表



Final Presentation

Jenesys Philippine Delegation
2025年12月1日



Overall Summary

- Deepen and develop mutual understanding, young leaders' ability between Japan and ASEAN.
- Promoting and encouraging understanding of Japan and The Philippines in various fields.
- Gained a broad understanding engaging with JICA, the Embassy of Japan, NGOs, universities, and local families.
- Valuable opportunity to consider future cooperation and development between Japan and the Philippines.



Action Plan after Returning Japan



Lectures in my university
Lectures on the Philippines,
development, and
international exchange



Business competitions
Working from Indonesia
JICA volunteers in
developing countries

【成果の発表】

- ・ フィリピンでは海外就労者（OFW）やサービス産業が経済を支えており、日本の経済的・政治的関与が生活水準の向上に大きく寄与していることを実感しました。
- ・ 大使館や JICA、NPO の活動を通じて、「支援＝一方的な援助」ではなく、相手国のニーズに基づく協働型支援の重要性を学びました。
- ・ 貧困地域の学校や住環境の視察から、「幸せ」の形は一樣ではなく、人々の笑顔やエネルギーの背景にある価値観への理解が重要であると気づきました。
- ・ 大学交流やホームビジットを通じて、相互理解は日常的な対話と体験の積み重ねによって深まることを実感しました。
- ・ 都市交通（LRT・MRT）の体験から、インフラ整備が人々の生活の質に与える具体的な影響を体感しました。

【アクション・プラン】

- ・ フィリピンでの経験や学びを、SNS 投稿（写真・動画）やブログ執筆を通じて継続的に発信します。
- ・ 自身の高校・大学等で報告会や講義を実施し、国際交流や開発協力への関心を広げます。
- ・ JICA ボランティアの活動に着想を得たマーケティング・ビジネスアイデアをビジネスコンテスト等で発表します。
- ・ プログラムで出会った関係者との継続的なネットワーク維持を図り、将来的な国際協力活動につなげます。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）